

争点を束ねれば「イデオロギー」になる？

サーベイ実験とテキスト分析の融合を通じて

秦 正樹¹ SONG Jaehyun²

¹ 京都府立大学 ² 早稲田大学

2019年10月6日

日本政治学会 @ 成蹊大学

【公募企画】対立をいかに掴むか—左右対立とその先の視座—

① イデオロギーと「争点の束」

- 政党が提示する政策方針の多様化
e.g. 自民党：憲法改正＋外国人労働者の受入拡大＝保守？
- 政党イデオロギーの分極化（2019 参院選調査）

	イデオロギー		DK 率 (%)			
	全体	≥40 歳	憲法改正	小さい政府	防衛力強化	消費税
自分自身	5.37	5.33	9.3	10.3	9.8	7.9
自民党	7.39	7.69	10.3	13.2	10.5	9.2
立憲民主党	3.94	3.75	11.4	13.8	12.2	10.4
維新の会	5.69	5.94	11.4	14.0	11.8	10.7
日本共産党	2.73	2.37	11.7	14.2	12.3	10.8

② リサーチクエスチョン

- イデオロギー的に複雑な政策を主張する政党のイデオロギー位置をどのように推論するのか
- サーベイ実験×テキスト分析：イデオロギー推論の際の認知プロセスに注目

① ヒューリスティックとしてのイデオロギー

- 感情評価ヒューリスティック (Miller & Shanks 1996)
- correct voting (Lupia & McCubbins 1998; Lau & Redlawsk 2006)
- 争点態度とイデオロギーの不一致 (竹中 2014; 遠藤・ジョウ 2019)

② 政党イデオロギーの推論

- 「象徴的な政策」(symbolic issue) (Conover & Feldman 1981)
- 日本：外交・安保争点を重視して推論 (加藤・レイヴァー 2003; 竹中 2008, 2010; Miwa et al. 2019)

③ 検討すべき課題

- イデオロギー的に不一致な政策態度をどう捉えるか？
e.g. 自民党=改憲を知らない有権者は投票後悔 (飯田,2018)
- 保守的政策とリベラル政策を同時に公約した政党のイデオロギーを推論する際の認知プロセスを検証

- 認知的不協和を解消するために…
 - 保守（リベラル）と推論される政党がリベラル（保守）的な公約を提示
 - イデオロギー的に異なる政策をどのように理解するか？

軽視仮説

- 人々は政党イデオロギー推論の際、改憲公約が提示される場合は教育公約を、護憲公約が提示される場合は脱原発公約をより重視するようになる。

変更仮説

- 人々は、改憲公約が提示される場合は脱原発公約をより右寄りの公約だと認知し、護憲公約が提示される場合は道徳教育公約を左寄りの公約だと認知する。

実験デザインの概要

- 2019年9月2日～3日
- Yahoo!クラウドソーシング
- 1,430名
- Qualtrics を利用

- 仮に、以下のような公約を提示している政党があったとします。あなたにとって、この政党の政治的な立場は、保守的（右派的）だと思いますか、それともリベラル的（左派的）だと思いますか。（以下略）
 - 政治改革：議員定数の削減や議員の報酬カット・企業団体献金を禁止
 - 原発政策：自然エネルギーの活用による原発の即時ゼロを実行
 - 教育政策：日本の伝統的な道徳観・愛国心を育む教育の推進

処置群 1

- 憲法の問題：日本の安全保障をより確かなものとするための憲法改正と国防軍の設置

処置群 2

- 憲法の問題：平和主義を貫く憲法を守り、9条を生かした平和的な対話外交を推進

共通

- 当該公約を掲げた政党の主観的イデオロギー認識 (7 件法)

+

実験群 A：数値型

- 各争点 (3 or 4 つ) に対するイデオロギー認識 (7 件法)

実験群 B：記述型

- なぜそのように判断したかについて自由記述

実験デザイン：実験群の概要

6つの実験群（統制群2 + 処置群4）

- 共変量のバランスは確認済み

		実験刺激		
		統制群	改憲提示 (処置群 1)	護憲提示 (処置群 2)
回答 形式	数値型 (実験群 A)	統制群 A ($N = 263$)	処置群 1A ($N = 249$)	処置群 2A ($N = 263$)
	記述型 (実験群 B)	統制群 B ($N = 221$)	処置群 1B ($N = 252$)	処置群 2B ($N = 249$)

軽視仮説の分析方法：数値型

政党の主観的イデオロギーを各争点に対する主観的イデオロギーへ回帰

- 実験群ごとに異なる傾き ($\beta_{j \geq 1, \cdot}$) を割り当て、大きさを比較
- 軽視仮説が支持される場合、 $(\beta_{1,1A} > \beta_{1,2A})$ と $(\beta_{2,1A} < \beta_{2,2A})$ が成立

$$Y_i \sim \text{Normal}(\mu_i, \sigma),$$

$$\mu_i = \beta_0 + \beta_{1,j[i]} \cdot \text{Education}_i + \beta_{2,j[i]} \cdot \text{NuclearPlant}_i + \beta_{3,j[i]} \cdot \text{Reform}_i + \beta_{4,j[i]} \cdot \text{Constitution}_i + \sum_{k=1}^K \gamma_k \cdot X_{k,i},$$

$$\beta \sim \text{Normal}(0, 10^2),$$

$$\sigma \sim \text{Cauchy}^+(0, 10^2).$$

変更仮説の分析方法：数値型

教育公約、原発公約の主観的イデオロギーを実験群ごとに比較

- 変更仮説が支持される場合、 $\delta^C < 0$ 、 $\delta^N > 0$ が成立

$$\delta^C = \mu_{1A}^C - \mu_{2A}^C,$$

$$\delta^N = \mu_{1A}^N - \mu_{2A}^N,$$

$$\text{Education}_i \sim \text{Normal}(\mu_{j[i]}^C, \sigma_{j[i]}^C),$$

$$\text{NuclearPlant}_i \sim \text{Normal}(\mu_{j[i]}^N, \sigma_{j[i]}^C).$$

軽視仮説

- 実験群ごとに形態素 (名詞) の出現順位を確認

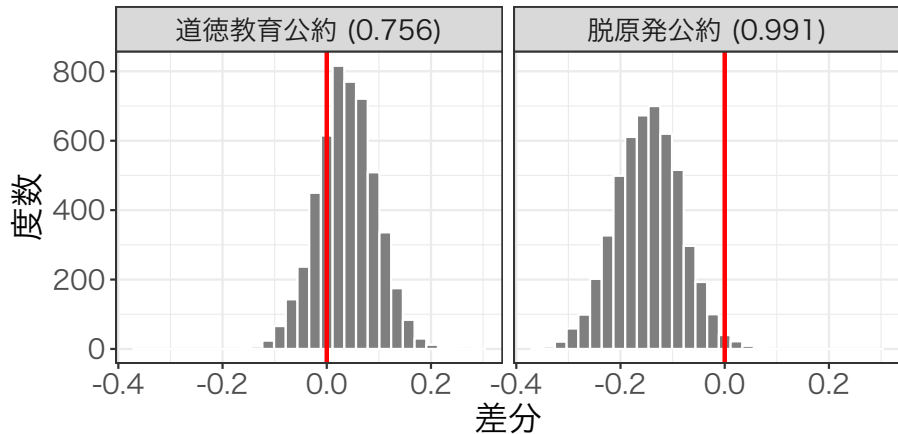
変更仮説

- 教育，原発，改革それぞれの内容について言及した回答者が、同時に「右」あるいは「左」を言及した度数を確認

サンプルサイズおよび有効回答数の限界により、傾向のみ確認

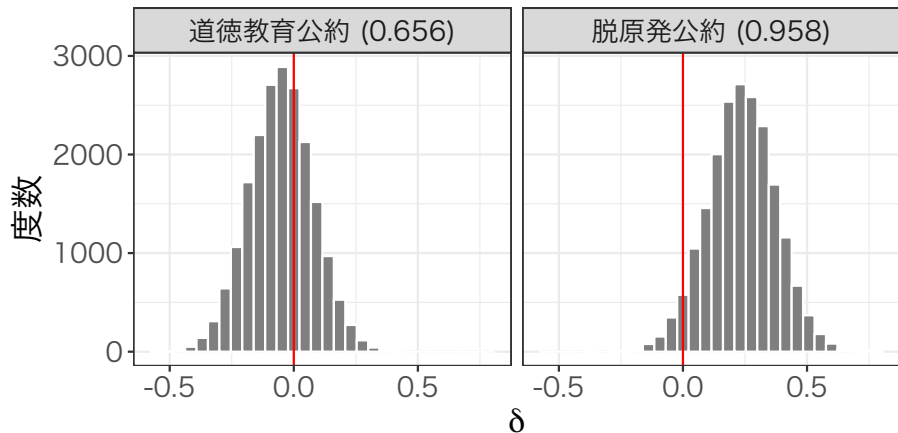
軽視仮説の検証：数値型

- $Pr(\beta_{1,1A} > \beta_{1,2A}) = 0.756$ 、 $Pr(\beta_{2,1A} < \beta_{2,2A}) = 0.991$
- 概ね仮説は支持



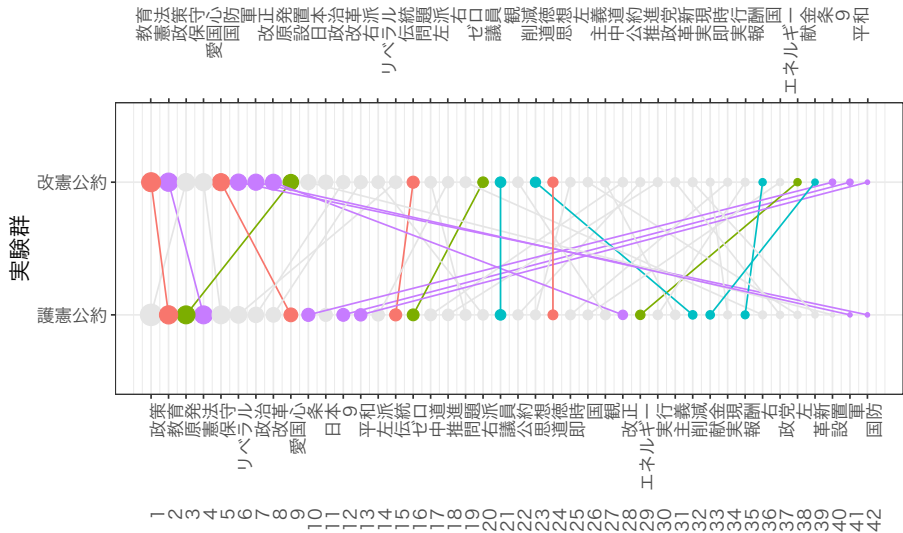
変更仮説の検証：数値型

- $Pr(\delta^C < 0) = 0.656$ 、 $Pr(\delta^N > 0) = 0.958$
- 脱原発公約において仮説は支持



軽視仮説の検証：記述型

改憲提示群では道徳教育公約、護憲提示群では脱原発の言及量↑



変更仮説の検証：記述型

- 道徳教育：改憲情報の場合、多くの回答者が「右」を言及するが、護憲情報が提示された場合、「右」と「左」はほぼ同数
- 原発教育：改憲情報の場合、多くの回答者が「右」を言及するが、護憲情報が提示された場合、「右」と「左」はほぼ同数

⇒ 脱原発政策に対して仮説と整合的な結果

	教育言及		原発言及	
	右	左	右	左
統制群	33	22	24	33
改憲情報	28	11	17	8
護憲情報	24	23	22	22

問 争点を束ねれば「イデオロギー」になる？

問 争点を束ねれば「イデオロギー」になる？

答 ならない

∴ 「看板政策」存在により、他の政策の重みが低下、判断の歪みが発生

含意

- ごく一部の争点が政党だけでなく、政策全体をも推論
- 近年の自民党に対する支持の高さと野党の支持率の慢性的な低さ

課題

- 分析対象の偏り: カバレッジ誤差、無回答誤差
- データの制約: 検定力、記述型の有効回答数